

高知研修レポート

- ・日時 令和元年 11 月 26 日
- ・場所 高知県長岡群大豊町川口 2035 番地 1
- ・概要 高知おおとよ製材株式会社
資本金 97,000 千円
工場敷地面積 鉄骨平屋建（延べ面積）10,717 m²
創業開始 平成 25 年 8 月
- ・製材工程 原木皮むき→高温乾燥→養生→仕上げ加工→出荷



設計 高城 裕介

ポイント

- ・ J A S （日本農林規格）認定取得した工場により JAS 規格に適合した材木を製材している。含水率 20%以下、ヤング係数 E-110
- ・森林法により計画されたスケジュールで伐採、植林をし、サステイナブルな活動を行っている。
- ・伐採する木材はおおよそ 50 年～60 年のものとし、用途に合ったものを選別、加工を行う。柱に適した木材は 160mm ほど、太すぎても柱には適さない。
- ・桧材は杉よりも元々含水率が低いため 4～5 日かけて高温乾燥し急激な温度差による割れを防ぐため養生期間をとる。
- ・ドラインセットという方法により表面を急速乾燥させ内部乾燥時に割れが起きないため背割れを入れる必要がなくなっている。
- ・ヤング係数は周波数を当て計測。通常 E-90 で十分とされているが当社の木材は E-110 を標準としている。材の強さは年数よりも育つ環境の影響を受け、高知県は年間の寒暖差が激しい場所により高強度のものが取れる割合が多い。
- ・おおとよ製材は一本ずつデータとり月ごとにデータを公表しておりデータ管理を徹底している。



感想

今回の研修で県庁の方々とは名刺交換した際、当社の名刺に高知県の文字が印字されていることに大変喜ばれていたことが印象に残りました。工場見学の際も県庁の方にも来ていただき県をあげて取り組んでいることが伝わりました。

工場内もきれいにされており安心、安全な木材が日栄の建物に提供されていることがわかりお客様にもこのことを訴求していこうと思いました。

